







9月15日、有楽町朝日ホールで映画『ドリーム』（原題：Hidden Figures）の試写トーキングイベントが開かれました。主催は、配給の20世紀フォックス映画。協賛は、在日アメリカ大使館とNASA、宇宙航空研究開発機構（JAXA）。本校はアメリカ大使館からの招待により、理数キャリアコース2年生9名が参加しました。

『ドリーム』は、米ソ宇宙開発競争が激しさを増す1960年代の米国が舞台。ソ連に宇宙分野での「人類初」の偉業を先取りされ焦る米政府は、南部バージニア州のNASA Langley研究所を追

い立てます。しかし、白人研究者による有人宇宙飛行に必須の軌道計算がうまくいかず、3名の優秀な黒人女性

が、宇宙特別研究本部へ抜擢されます。多くの人種差別を受

けながらも、IBMコンピューター導入以前の時期に、彼女たちは複雑な計算や解

析を手書きで成し遂げ、それぞ

れ道を切り拓いていく物語です（朝日新聞GLOBEより一部抜粋）。

当日、GLOBE記者からは、「少し前の時代にここまでの人種差別があったな

と紙9月28日号に掲載されました。

日本人なら外に出よう！」自然を愛する旅」。

日本人は、和歌や農耕の世界に代表されるように、昔から自然と触れ合ってきましたが、近年はそれから遠ざかる生活が増えています。そこで、今回は日本自然と国立公園の楽しみ方」がテーマとなりま

した。

今年のタイトルは「Discover Nature in Japan」。

7日と14日に両大学で開催されました。

「文京学院大学・淑徳大学共催公開講座」が10月

「身近な自然の楽しみ方」による科学研究発表交流会

（主催：ノートルダム清心学園、清心中学校園）が開催されました。

10月28日、学習院大学目白キャンパスにおいて開かれ、本校は東京大会の協力校として、研究発表の他、一部運営にも参加しました。

開会行事に統一して、講演「大学で習う物理」（講師：井田大輔、理学部物理学教授）を聴講し、

物理への興味をかき立てられました。その後、午前・午後に分かれ、個々の研究開会を行いました。

開会式で園児活躍のポスター発表を行いました。本校からは高校2年生

全員が24件のポスターで参加。1月にタイに派遣される生徒もあり、熱のこもった発表をしました。

最後に「小さいRNAはN/Offスイッチングの仕組み」（講師：塙見美喜）今日も大忙しそう遺伝子O

Y子東京大学大学院理学系研究科教授）の講演を聞き、参加生徒一同、科学への想いを熱くしました。

乗越えるものがたくさんあって大変だったと思う」「女性たちがこんなにも強いのが、すごくかっこいい。自分も頑張らなくちゃと思った」と話しました。9名は、終了後も登壇者の元に集まり、熱心に英語での話に耳を傾けました。なお、当日の様子は、同紙9月28日号に掲載されました。

乗越えるものがたくさんあって大変だったと思う」「女性たちがこんなにも強いのが、すごくかっこいい。自分も頑張らなく

しゃと思った」と話しました。9名は、終了後も登壇者の元に集まり、熱心に英語での話に耳を傾けました。なお、当日の様子は、同紙9月28日号に掲載されました。

乗越えるものがたくさんあって大変だったと思う」「女性たちがこんなにも強いのが、すごくかっこいい。自分も